

報道関係各位

2017年4月14日  
慶應義塾大学 SFC 研究所

— IT 技術を用いて自治体の課題を解決 —  
慶應義塾大学 地域IoTと情報力研究コンソーシアムが  
「第1回 地域IoTと情報力シンポジウム」を開催

慶應義塾大学 SFC 研究所が運営する地域 IoT と情報力研究コンソーシアム（代表：環境情報学部准教授 中澤 仁）は、2017年4月28日（金）、慶應義塾大学日吉キャンパスにおいて「第1回 地域IoTと情報力シンポジウム」を開催します。  
イベント欄へのご掲載、ご来場、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

【概要】

主催：慶應義塾大学SFC研究所 地域IoTと情報力研究コンソーシアム

共催：湘南IoT推進ラボ

日時：2017年4月28日（金）13:30-17:15

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 藤原洋記念ホール <http://www.kcc.keio.ac.jp/index.html>

会費：無料（懇親会は一般3,000円、学生2,000円）

ホームページ：<http://www.sfcity.jp/consortium/symposium2017/>

【趣旨】

昨年11月に発足した「地域IoTと情報力研究コンソーシアム」は、街のあらゆる情報をセンシングする技術や、ディープラーニングをはじめとする機械学習技術等を応用し、スマートホーム、スマートモビリティ、スマートスペース等の多様な分野において、情報の力を活用したサービスを創出することにより、人の生活をより豊かにするスマートシティを構築することを目的としています。

本シンポジウムは、コンソーシアム会員団体の取り組みや狙いについて紹介するとともに、産官学の関係者間のネットワークを構築し、様々な情報交換、技術開発、事業展開等を連携し継続して取り組む機会となることを目指し開催されるものです。

【プログラム】

○第1部

趣旨説明 地域IoTと情報力研究コンソーシアム 中澤仁（慶應義塾大学）

基調講演 世界のスマートシティ潮流と日本の未来戦略 徳田英幸（国立研究開発法人情報通信研究機構／慶應義塾大学）

○第2部

藤沢における地域 IoT Showcase

1. 現代日本の地域が抱える問題 大高利夫（藤沢市）
2. オープンデータと参加型データ社会 瀬戸寿一（東京大学 CSIS）
3. 藤沢×環境 清掃車センシング 鈴木友康（ぶらっとホーム株式会社）
4. 藤沢×ごみ 藤沢みなレポ 金子義之（藤沢市資源循環協同組合）
5. スマートモビリティからスマートシティへ 木村聡（インターネット ITS 協議会／日本電気株式会社）
6. スマートシティの取組み 宮原智彦（パナソニック株式会社／FujisawaSST マネジメント株式会社）  
スマートストリートプロジェクト-2020 に向けたレガシーインフラの活用 渋谷哲（パナソニック株式会社）

○第3部

パネル討論 「情報の力で地域を変える」

パネリスト：徳田英幸（国立研究開発法人情報通信研究機構／慶應義塾大学）

大高利夫（藤沢市）

金子義之（藤沢市資源循環協同組合）

木村聡（インターネット ITS 協議会／日本電気株式会社）

宮原智彦（パナソニック株式会社／FujisawaSST マネジメント株式会社）

【このような方にご参加頂ければと思います】

- ・ IT技術を用いて自治体の課題を解決したい自治体関係者
- ・ スマートシティ分野の最先端の研究・開発にご興味がある研究者の皆様
- ・ 藤沢市で取り組んでいるスマートシティ事例にご興味がある一般の方
- ・ 研究テーマを探している学生の皆様

- 
- ・ 本件に関するお問い合わせ

地域 IoT と情報力研究コンソーシアム事務局

sfcity[AT]ht.sfc.keio.ac.jp

- ・ 配信元

慶應義塾大学湘南藤沢事務室学術研研究支援担当

TEL0466-49-3436 FAX : 0466-49-3494 Email : kri-pr[AT]sfc.keio.ac.jp

※上記の[AT]は@に置き換えてお読み下さい。